連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくろう!!

労福協だより

新年号
Shizuoka Rofukukyo Dayori
New year

(一社)静岡県労働者福祉協議会

2015 新春 歌会はじめ

浙江省総工会特別友好訪中団報告

ロッキー奨学金授与式

「フードバンクふじのくに」法人化

全労済からのお知らせ

ALWF
福祉基金協会からのお知らせ

シリーズ **運動継承!**
事業団体職員・労福協役員へ
贈る言葉

地区労福協事務局長の
リレートーク　No.15
人物登場

労働者自主福祉運動に
とりくんでいきたい

2015 新春 歌会はじめ

新年あけまして
おめでとうございます。

協同の　原点回帰で　吹っ飛ばせ
「3だけ主義」の　悪しき風潮

（一社）静岡県労働者福祉協議会
理事長　吉岡　秀規

「3だけ主義」とは〝今だけ〟〝カネだけ〟〝自分だけ〟という考え方です。こんな風潮が広がると殺伐とした社会になりますから、「連帯・協同」の考え方で対抗しましょう。

共感で　仲間を作り　輪を広げ
夢を手にする　協同組織

静岡県労働金庫
理事長　古川　正明

労働金庫の理念は、働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関です。そして働く人たちを中心に広く地域との連携によって成り立っています。

連帯と　協同する　静岡に
みんなで創る　福祉社会

（公財）静岡県労働者福祉基金協会
理事長　池冨　彰

静岡の勤労者自主福祉運動は、それぞれの事業団体の強みを生かし、「連帯と協同」で進んでいます。皆さん、今年もがんばりましょう！

相互扶助　思い引き継ぎ　半世紀
設立の意志　永久にと誓う

（一財）静岡県勤労者信用基金協会
理事長　石塚　智昭

本年は1965年の設立より満50歳を迎えます。勤労者の生活環境も様変わりしましたが、今後も未組織勤労者の保証機関として相互扶助の精神をつないでまいります。

このまざる　災害多し　昨今の
無保障なくし　安全担保

全労済静岡県本部
本部長　佐竹　功

毎年毎年、自然災害が多発している中、自分の身は自分で守ると言う意識を強く持つと同時に、普段からの様々な備えをしておくことが、防災・減災に繋がります。

富士山と　共にそびえる　フードバンク
連帯強めて　更に大きく

静岡県生活協同組合連合会
会長　吉田　敬哲

多くの団体で支えられている静岡方式のフードバンク。連帯と連携を強め、更に発展させましょう。

昨年は、4月から消費税引き上げがありました。夏場には急速に持ち直すと見られていた景気が、実質所得の落ち込みなどを背景に、個人消費の回復ペースは鈍くなりました。その結果消費税10％導入は先送りになりました。

また、円安で大手輸出企業は潤っていますが、中小企業の景気は改善されませんでした。

その上、御嶽山噴火、広島の土砂崩れ、県内においても台風18号の集中豪雨により静岡市清水区で浸水の被害を受けた方も多くおり、自然災害の多発した年でした。

さて、新春を迎え、今年こその願いを込め、各福祉事業団体の代表者の皆様に新春の想いや活動などを詠んでいただきました。

年金は　働く人の　支えなる
共に歩めば　笑みをもたらす

（一財）静岡県年金福祉協会
専務理事　新出　繁博

年金住宅融資基金の利用や、年金セミナーを受講されたユーザーの皆様から、将来必ず役に立つと思っていただけるよう、良きパートナーとして日々勇往邁進します。

消費税　10％なる前　かけ込みで
その旅先で　家族団らん

（株）静岡ユニオントラベル
代表取締役社長　原　健二

景気の実感は湧きませんが、いつも人知れず自分を支えてくれている家族に感謝！　まずは身近な小旅行はいかがですか？　そのお手伝い　是非ユニオントラベルにおまかせを!!

第10次 浙江省総工会 特別友好訪中団 報告

中国浙江省とは１９９４年から相互訪問を行って来ました。今回、10月27日～11月２日に池冨団長はじめ６名での訪中団として交流して来ましたので、交流の一部を紹介します。

10月28日、パナソニックを訪問し、工場見学と会社の説明を受けました。主な内容は、「主に洗濯機を製造し、２０１２年で20年を迎えた。生産量は10年間で３倍の年間３４０万台、売上は10億元から46億元になった。従業員は２９１０名で、開発・製造・販売すべて中国人が行っている。中国向洗濯機は大きめで、色をシルバーに変えるだけで高く売れる。」また、「泡が立つことが必要」とのことでした。

昼食後、杭州市勤労者サービスセンターを訪問しました。勤労者向けの様々なサービスをワンストップで提供するセンターです。主な内容は次の通りです。①対象の勤労者は３００万人で、訪問は1日に１００人程度②資金は、医療は基金から、その他は寄付金③学校に行けない学生に対しての資金提供④弁護士による法律相談⑤苦情相談も多く受けている。

続いて隣接する手芸センターを訪問しました。ここでは障がい（特に心の関係）が、七宝焼き等の細かな作品を少しずつ丁寧に作成していました。

続いて、総工会の保養所にて表敬訪問とレセプションを執り行いました。総工会の出席者は戴常務副主席、曹副主席、王氏、蒋氏、陸さん、陳さんで、双方のメンバー紹介を行い、各代表より近況報告等を行いました。

戴常務副主席から次の取組報告を受けました。①主席が変わり変化が見え、組合も革新した。②基礎となる単組15万の建設。③労働者の権利を守る。④労働者サービスセンターと連携して総工会にセンターを持つ。⑤医療援助センターを建設する。⑥組合員の実力を高める。

池冨団長からは、活動の原点は職場にあること、今後目指すものとして、地域貢献、仲間の輪の広がり、本気になること等を訴え、日本の少子高齢化等の社会環境、組合組織率の低下などについて報告をしました。

その後、レセプションを行い白酒で乾杯をして交流を深めました。

今回の訪中は日中関係の悪化、ＰＭ２．５、食品偽造などマスメディアから入ってくる情報は余り良いものはなく、多少不安な気持ちでの訪中でした。訪中している間には日中関係悪化の影響は杭州、西安、上海の街並みでは感じ取れなかったです。国と国との関係は良くありませんが、民間レベルの交流を深めて、政治的な問題を徐々に解決できればと感じています。

池冨　彰	団長	連合静岡会長
加藤明生	秘書長	県労福協事務局長
吉田敏明	団員	静岡県労働金庫執行役員
石田公博	団員	全労済事業推進部長
内田経子	団員	連合静岡副会長
笠原賞憲	団員	連合静岡執行委員

Rocky scholarship

ロッキー奨学金授与式

11月25日、ロッキーセンター会議室でロッキー奨学金の第５回目の授与式が行われました。

ロッキー奨学金は労働金庫特別利用配当金から拠出され２０１０年６月に創設した「地域役立資金」の内、県労福協が管理している〝人づくり資金〟の一定金額を基金とし、その運用益を活用した奨学金20万円を給付する制度です。また、奨学金の対象者は、静岡県内に在住もしくは企業などに勤務する勤労者の子弟で経済的支援が必要と認められる学生で、いずれの学生も各大学から推薦いただいた優秀な方達です。

今回の授与式では常葉大学、静岡理工科大学、静岡産業大学から、９名の奨学生を募集し、成績優秀な方を推薦していただきました。（当日は都合により３名欠席）

冒頭、県労福協の吉岡理事長は「社会が厳しくなっていて、勉強をしたくても出来ない方が増えていると聞いている。ロッキー奨学金はまだ発足したばかりの制度であるが、多くの皆様の役立つ制度にしていきたい。皆さんが社会人になって余裕が出来たら労働金庫を利用して欲しい。その事が後輩のロッキー奨学金に繋がってくる。」と挨拶を行いました。

また、ロッキー奨学金を生み出した、労働金庫の古川理事長は「労働金庫は利益を追求して事業を行っていない。剰余があれば、会員や社会貢献などに使っている。労働金庫が普通銀行とは違う事を理解して欲しい。この奨学金を利用し勉学に励み、社会に出てから良い仕事をして日本の社会に役立つ人間になって欲しい。」と激励しました。

挨拶の後、奨学生全員に吉岡理事長より奨学金の目録の贈呈が行われました。その後に各大学代表の奨学生から謝辞がありました。

ある大学の学生は「家庭の経済環境が厳しく大学進学を諦めていたが、母が大学進学を勧めてくれた。厳しい家庭環境であるが私の気持ちをくみ取ってくれた母に感謝する。ロッキー奨学金を頂き家庭の経済的な負担も軽減できる。奨学金を頂いたことにより、勉学に対する意識も高まり、これからも前向きな気持ちで取組んでいける。」とお礼の言葉がありました。

奨学金の募集は春・秋、毎年２回行われます。今年の春にはまた奨学生の募集をします。また、対象大学を拡大することが決定しました。今後とも県労福協は家庭環境が厳しく、学業優秀な大学生を支援していきます。

全労済静岡県本部からのお知らせ

ZENROSAI NEWS

①「台風18号(2014年10月6日)」および「台風19号(同10月14日)」の対応状況について

台風 18 号　進路図

出展：気象庁 HP

近年毎年のように大きな自然災害が日本各地を襲っております。
静岡県では昨年も大きな2つの台風(18号・19号)の被害に見舞われました。
本紙面をお借りして、被災された皆さまに改めてお見舞い申し上げます。
今回の台風の特長は「大雨」。屋根や雨樋等の損壊に加えて、静岡市清水区の一部の地域を中心に、大雨による「浸水」が多発しました。通常の現場調査は、被災組合員から連絡をいただいてから調査に伺いますが、浸水エリアが特定されていたこともあり、全労済静岡県本部としては初の試みとなる、「一斉訪問調査活動*」を実施しました。
2014年12月3日現在、2つの台風合計で501件の被災連絡を受け付けました。現場調査が必要な件数に対する調査完了率は約95%、お支払共済金総額は1億5,421万円となっております。(下記参照)

＊一斉調査訪問活動：被災連絡をいただいたご契約者宅の訪問に加えて、まだ被災連絡をいただいていない近隣にお住まいのご契約者宅にも訪問し、被害の状況を確認させていただく活動。

台風18号・19号
全国および静岡県本部の状況
(2014年12月3日現在)

		静岡県本部	全国
被災受付件数		500件	4,064件
現場調査必要件数		405件	3,688件
現場調査完了件数		381件	3,292件
お支払い件数	火災共済	288件	2,647件
	自然災害共済	222件	1,823件
お支払い金額	火災共済	4,199万円	2億6,267万円
	自然災害共済	1億1,222万円	4億8,573万円

②火災共済「事業開始60周年」

60th Anniversary 火災共済

1954年、「相互扶助」「協同・連帯」の理念にもとづき、労働者自らの手で生活防衛を行なうために、火災共済事業がスタートしました。事業開始直後は1口のみの加入で掛金は年100円、保障は全焼で15万円という小さなものでした。
その後、1955年の新潟大火や1995年の阪神大震災、2011年の東日本大震災など、いくつもの大きな災害を経験しましたが、助け合いの輪が広がり、今では最高600口(6,000万円)の保障で1口あたりの年掛金も70円でご利用いただけるようになりました。

③「火災共済商品改定」について

全労済の 住まいる共済 新火災共済・新自然災害共済

そして2015年2月、火災共済は「住まいる共済」としてリニューアルします。
建物構造区分をこれまでの「木造」「耐火」の2区分から、「木造」「鉄骨・耐火」「マンション」の3区分に変更することとあわせて、3つの新しい特約を新設するなど、組合員の皆さまの信頼にお応えできる内容となる予定です。
現在ご契約いただいている方々はもちろんのこと、まだご利用いただいていない方々も全労済の新しい火災共済「住まいる共済」にぜひご期待ください。

■制度改定内容(抜粋)

①3構造区分の実施と掛金の見直し
より皆さまのお住まいに合う保障となるよう、構造区分を「木造構造」「鉄骨・耐火構造」「マンション構造」の3区分へと改定します。それに伴い、掛金の見直しを行います。

	木造構造		耐火構造		
従来	火災共済	自然災害共済	火災共済	自然災害共済	
		標準	大型	標準	大型
	70円	90円	130円	40円	50円 / 75円

	木造構造			鉄骨・耐火構造			マンション構造		
改定後	火災共済	自然災害共済		火災共済	自然災害共済		火災共済	自然災害共済	
		標準	大型		標準	大型		標準	大型
	70円	110円	165円	40円	70円	105円	30円	60円	90円

②火災共済に付帯できる新特約
●個人賠償責任共済
第三者に対して、加入者が法律上の賠償責任を負った場合の保障です。
●類焼損害保障特約
火元となった際の類焼先の損害に対する保障です。
●盗難保障特約
盗難により家財に発生した損害に対する保障です。

③加入基準の見直し
構造区分の変更に伴い、加入基準も見直すこととし、生活再建に必要な保障額としての改善を行います。

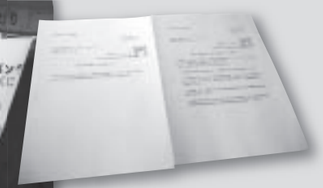
自然災害共済の総支払限度額の引き上げ・掛金改定　首都直下地震等の発生が危惧されている中、組合員への支払責任を果たすために、総支払限度額を引き上げるとともに、掛金を引き上げます。

保障のことなら 全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会
全労済静岡県本部 〔静岡県労働者共済生活協同組合〕

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員のみなさまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

労福協ってなあ～に! 36

「フードバンクふじのくに」法人化する



認証の通知書

労働金庫から寄贈された軽自動車

認証を受ける木下副理事長

「フードバンクふじのくに」は、まだ安全に食べられるにもかかわらず処分されてしまう食料を、企業や個人から寄贈を受け、生活困窮者等、支援を必要としている人に適切に配るフードバンク事業を地域の仕組みとして確立させ、相互扶助の社会作りを目指す事を目的として5月19日に設立されました。設立当初より法人化を目指してその準備を進めて来ました。
特定非営利法人の認証は政令指定市とその他の市町では違っています。政令指定市は市で認証を行い、その他の市町は県が認証するようになっています。
「フードバンクふじのくに」では6月23日に静岡市に申請した「設立認証」が、9月24日に認証を無事受ける事が出来ました。その後に、静岡地方法務局に法人登記を行い10月7日に法人登記の作業は終了しました。5月19日に、設立総会で静岡県労働金庫から軽自動車の寄贈の目録をいただいていましたが、法人登記が終わった11月11日に念願の軽自動車が納車されました。いただいた軽自動車を大事に使い、食品の受け渡しに活用させていただきます。
「フードバンクふじのくに」は多くの方にご理解いただき、多くの米、缶詰、乾麺などの食品を寄贈していただいています。11月末現在では総入庫食品量は12トンで総出荷量は9トンです。入庫の関係は地区労福協等が実施したフードドライブの食品の寄贈もありますが、企業からの食品の寄贈も増えています。現在企業との食品寄贈は同意書を交わした5企業となっています。
食品の支援先は県内の各市町の福祉課、各社会福祉協議会や福祉団体などです。
現在は受け渡しの関係があり、中部地区の団体が73%になっています。
今後、寄贈食品が増えてきた場合、多くの課題があります。まずは食品を保管する倉庫の確保。「フードバンクふじのくに」にはフォークリフトもありません。企業からの大量の寄贈の場合は総動員で作業を行っています。寄贈された食品を一品ずつ賞味期限ごとに確認しての区分作業や支援先ごとの食品の仕訳作業が増大してきますのでその作業を行う方の確保などがあります。
今年度は、福祉基金協会や県労福協からの寄付金や日本福祉医療機構からの補助金があり何とか運営は出来ますが、次年度以降の運営基盤を安定化させるためには、会員や賛助会員・企業の確保が必要になってきます。
多くの皆様のご理解・協力をお願いいたします。

【宇宙への夢～新たなる挑戦～】

1961年、旧ソ連のユーリガガーリン宇宙飛行士が人類初の宇宙飛行を成し遂げてから50年。この間、宇宙に関する開発や研究は日々進化を遂げ、現在、国際宇宙ステーション（ISS）での実験や研究が、有人宇宙ミッションとして全世界から注目されています。今回、1985年、日本人宇宙飛行士として候補者に選ばれ、後に2度のスペースシャトル搭乗、日本人初となるミッションを成し遂げ、現在、宇宙科学技術発展の為に国際連合で活動される元宇宙飛行士土井隆雄さんを招き、宇宙飛行士時代の経験や国際宇宙ステーション、国際連合での活動についてお話しします。

国際宇宙ステーション内、右上が土井隆雄さん。
（STS-123ミッション、2008年、Photo:NASA）

日時：3/7（土）13時30分～15時00分
場所：ALWFロッキーセンター
募集：120名　参加費：無料
問合せ：ライフサポートセンター中部
TEL054-270-3963

土井 隆雄　さん【国際連合宇宙応用専門官　宇宙飛行士】
1954年東京生まれ。1997年スペースシャトル「コロンビア号」に搭乗し、日本人初の船外活動を実施。2008年スペースシャトル「エンデバー号」に搭乗。国際宇宙ステーション（ISS）日本実験棟「きぼう」の船内保管室をISSに 取り付け、日本が開発した最初の有人宇宙施設に乗り込んだ初の日本人となる。2009年9月より、国際連合宇宙応用専門官および宇宙部宇宙応用課長としてオーストリア、ウィーン市を拠点に活動中。

静岡大学法科大学院で教鞭を執る弁護士が、約1時間皆様のご相談に応じます。
法律に係る諸問題（相続、遺言、離婚、賃貸借、消費者被害等）でお悩みの方、お気軽にご利用下さい。
開催日：2015年3月6日（金）会場：湖西市内予定
募　集：13時30分・15時00分・16時30分　各時間3名計9名（事前予約先着順）
問合せ：ライフサポートセンター西部　電話：053-466-6307（平日9:00～17:00）

日常生活で起こるトラブルや悩みごと等のご相談に応じます。
お気軽にご利用下さい。

★ 暮らし何でも相談
消費生活、家庭、労働、子育て、介護、年金、住まい、多重債務、融資だけでなく、生きがい、生活設計、ボランティアなど、充実して暮らすための相談なども結構です。
★ 豊富な相談協力ネットワークにより、適切な専門機関をご紹介します。
（弁護士、司法書士、行政機関、社会福祉協議会、金融機関、ＮＰＯ団体等）
★ 相談は原則無料
★ 県内６箇所のセンターで相談に応じます。

相談ダイヤル
受付は平日
9:00～17:00

東部：055-922-3715　西部：053-461-3715
中部：054-273-3715　中東遠：0538-33-3715
しだはいばら：054-646-6055
岳南：0545-51-3715

ロッキーカレッジのご案内

【風の電話の物語】ここにこんなボランティアが。生かされた命を世の中の為に。

東日本大震災からまもなく4年。これまで多くの方が、様々なかたちのボランティアとして、被災地支援に関わってきました。
今回ロッキーカレッジでは、静岡県ボランティア協会との共催で、東日本大震災復興祈念を兼ねたセミナー『風の電話の物語』を開催します。あの日、津波にのまれる町をじっと見ているしかなかったガーデンデザイナー佐々木格さんがはじめた“傷ついた人の心をいやすお手伝い”。併せて被災地の現在についてもお話しいたします。

日時：2/25（水）15時00分～16時30分
場所：ALWFロッキーセンター
募集：50名　参加費：無料
問合せ：ライフサポートセンター中部
TEL054-270-3963

風の電話：岩手県大槌町の高台 佐々木さんの自宅庭、「ベルガーディア鯨山」にある白い電話ボックス。中には、電話線のつながっていないダイヤル式の黒電話が置かれ、震災等で亡くなった家族や大切な人と話をする場所として多くの人が訪れています。電話をかけながら泣いている人、静かに立ち去る人。その悲しみや叫び、大切な人との会話は、電話横に設置された1冊のノートに綴られています。また、同ガーデンには、震災で本を読む場所がなくなってしまった大槌の子供たちの為に作られた「森の図書館」やツリーハウス、木ッ木の森などがあります。

【知っ得情報講座】ネットの落とし穴

なりすましや出会い系などインターネットがきっかけとなるトラブル事例やその対処について解説します。
日時：1/31（土）10時～11時30分　　場所：ユーコープ小豆餅店　コミュニティールーム（浜松市中区）
講師：山田茂樹さん（司法書士）　申込：ライフサポートセンター西部　TEL053-466-6307

【脳いきいき講座】

いつまでも元気で過ごしたい!認知症の仕組みとならないさせない生活習慣について学びます。

日時：2/8（日）14時～16時
場所：ラ・ホール富士（富士市）
問合せ：ライフサポートセンター岳南TEL0545-57-6029

日時：2/15（日）13時30分～16時
場所：iプラザ（磐田市）
問合せ：ライフサポートセンター西部TEL053-466-6307

講師：志村孚城さん　日本早期認知症学会理事長・奥山恵理子さん　日本認知症ケア学会代議員　　参加費：無料

●「ALWF（アルーフ）ロッキーセンター」のご利用をお待ちしております!!

会議室の利用方法や料金等のお問い合わせ、お申し込み等は下記で承ります。

■問合せ先
公益財団法人 静岡県労働者福祉基金協会
ALWFロッキーセンター
〒420-0851　静岡市葵区黒金町5-1　静岡県勤労者総合会館3階
TEL 054-273-3000　FAX 054-272-7326

人物登場

地区労福協事務局長のリレートーク　No.15

山本（ヤマモト） 英希（ヒデキ）さん
賀茂地区労福協　事務局長

出身組織：静岡県教職員組合賀茂支部
役職名：支部長

①趣味：スポーツ観戦
②モットー：つなげる　つづける
③最近感動したこと：錦織圭の全米オープン準優勝
④最近失敗したこと：車をバックさせてぶつけた

「連帯」と「協同」でつくる安心・共生の福祉社会をめざし労働者自主福祉運動にとりくんでいきたい

みなさん、こんにちは。

賀茂地区労福協で事務局長を仰せつかっております山本です。2014年４月に就任し、労福協についてまだまだ無知ではありますが、関係者の方々に助けていただきながら務めております。そのような中、このたびリレートークの執筆依頼が回ってきたため、改めてこれまでに発行された「労福協だより」を見返してみました。するとさまざまなとりくみや各地区の情報がたくさん掲載されており、忙しさを理由にざっと目を通してきた自身に恥ずかしさを感じています。

さて、私は今年の９月、連合主催の「2014平和行動 in 根室」に参加しました。私が現在勤務する下田市は、1855年に「日魯通行条約」（下田条約）が締結された地であり、毎年、２月７日には「北方領土の日」記念史跡めぐりマラソン大会が開催されます。市内の中学生が、一般の方に混じって参加するため、私も何度か役員や引率で関わりました。そのようなことから北方領土への関心も高まり、一度は訪れてみたいと思っていたところ、このような機会を与えていただきました。元島民である得能宏氏が、「平和ノサップ集会」と「北方領土返還を求めるシンポジウム」の中で語られた、「ふるさとへ帰りたい」と早急な帰郷を強く望んでいる言葉が心に響きました。ロシアに不法占拠されて69年が経つ現在でも、小学生だった当時のことを鮮明に記憶しているその思いを、多くの人が受け継いでいかなければならないと思います。元島民の平均年齢が80歳と高齢化し、元島民の故郷への帰郷、日本とロシアの平和的、友好的な関係への早期解決を強く願います。納沙布岬から歯舞群島を眺めながら、いろいろなことを考えさせられる機会となり、今後は北方領土問題に対する関心を啓発する一人として、その役割を担っていかなければならないと感じています。

2014年度、静岡県労福協は50周年を迎え、賀茂地区においても１月31日に賀茂地区労福協50周年記念行事を開催します。この節目の時期に役員の一人として携われることに感謝いたします。「連帯」と「協同」でつくる安心・共生の福祉社会をめざし、微力ではありますが労働者自主福祉運動にとりくんでいきたいと思いますので、今後ともよろしくお願いします。

運動継承！

事業団体職員・労福協役員へ

贈る言葉

4回シリーズ その3

野口　武利

事業団体職員・労福協役員へ贈る言葉は、今回から4人目の寄稿者となります。
現在、藤枝市に在住の「野口武利」さんは県労福協の副会長として1980年から1991年、会長として1991年から2003年までの長きにわたり県労福協で活躍された方です。野口さんは大所高所からものを見る事ができる方であり、バイタリティーある方だと聞いています。

国体と紅白を止める!!

その一

終戦の翌年から国民体育大会が各県持ち回りで開催されるようになりました。全国の都市は米軍の爆撃で壊滅的な打撃を受け、いっぺんに再建・復興とは行かず、国体の開催地から重点的にと云うわけでしたが・・・。

ところが、様々な要素が重なって、経済は思いの外回復が早く、当初の計画より競技場の設置や指導者の養成は進み、二十年を経ずして東京オリンピックを開催するまでになりました。

加えて、二回目のオリンピック招致を六年後に再現する〝オマケ〟までつく程です。

一方国体の方は、三十年程前から、おかしな方向へむかいはじめました。

競技ごとに順位と得点が定められ、男子は天皇杯、女子は皇后杯、両者の合算で総合優勝が決り、主催県が必ず全ての賞を独占する不文律が続いています。一体何故なの？・・・。

関係者は、皆わかっていて、何も云いません。国体を主催する県は、自分の県の選手の力を測り、天皇杯・皇后杯にどれだけの差があるかを見て、二～三年前から有望な他県の選手に目を付けスカウトする訳です。

勿論、他県の選手ですから、スカウトの時期や、予約等、綿密な作戦を練り、本人や関係者と予めの交渉と云う訳です。

勿論、トレード用のボーナス、成績次第でのご褒美を内々に決め、結果通りならば来年再来年を目指しての談合がなされ、選手達は移動を続ける訳です。こんな国民体育大会なんて、もう必要ありませんね・・・。

その二

ＮＨＫの紅白は昭和二六年からはじまり、二年後にはテレビ放送も・・・。工場の再建、荒れた田畑を前に、休日も祭日もなく働き通しでした。せめて暮の三十一日ぐらいは、と云う思いが紅白で、誰もがやれやれ今年も無事に越せるかと振り返り、正月を迎えました。

さて、昨今のテレビ・ラジオはどうか、一日中フル稼働で、チャンネルは無数ですが・・・。

若いミニスカートのお嬢さんや、下品なタレントが勝手な事を云い、ジャーナリストと称する人種は訳がわからず・・・。

ＮＨＫは日本の文化に大きな影響を与えて来ましたから、12月31日だけは、大切なニュース以外は、電波を止めてはどうでしょう。勇気がいる事ですが、情報の手段はどんどん進化しているのに、その内容は、劣化し続けています。

この国の置かれた立場、世界中でどれ程のトラブルが発生しているのか、その原因について、外務省の機能がほとんど国民に届いていない現実を考えると、ＮＨＫがその隙間を埋めても良さそうな気がします。

世界とどう付き合うかが一番大切な時代にＮＨＫが、その軸足を何処に置くか、近隣諸国の中国、韓国、北朝鮮、ロシアの本質を考えると年の瀬に、民放が自棄になる程のインパクトを与える番組を発信するのは、もういいでしょう、冒頭申し上げた紅白の主旨はもう存在していないのですから。一度止めて見て、その上で考え、皆んなで議論してみる価値はありそうですが・・・。

第29回 労福協まつり

10月19日(日)第29回労福協まつりが浜名湖ガーデンパークで開催されました。当日は雲ひとつない快晴のもと、地域の勤労者親子のふれあいの場となりました。

浜松市との共催事業として定着し、勤労者共済会も「わーくんフェスタ」として共同開催しています。

ヤマハビックバンドの演奏で始まり、オープニングには「浜松市長・県労福協理事長・勤労福祉協会理事長」を来賓に招きテープカットで労福協まつりが10時にスタートしました。

楽しいイベントとして、4600点を準備した「福祉チャリティーバザー」には開始前から多くの方が列をつくって待っていました。

「親子工作広場」では親子がふれあい協力して作品づくりに汗を流しました。チビッコ広場では「バッテリーカー」「フワフワ」「ミニ鉄道」「フラッシュスタンプ」「ジュビロエアゴール」で子どもたちが楽しい1日を過ごしました。

ステージでは、「ライブショー」「キャラクターショー」を開催しました。また、「北海道のじゃがいも販売」も実施し喜んでいただけたと思います。

今年の特徴は、徳川家康公薨去400年を2015年に迎えることで、家康くんの着ぐるみとフワフワにも家康くんを準備しました。

もう1つは、フードドライブを開催したことです。労福協幹事・労福協まつりスタッフ・ろうきん職員を中心として多くの方に協力いただき、ダンボール5箱程度になりました。

当日の、来場者は15700人と終日のにぎわいでした。

労福協スタッフの皆さん　お疲れさまでした。

福祉チャリティーバザー

第33回 福祉まつり「ふれあい広場」に参加

～地域との関わりを大切に～

10月19日(日)、焼津市社会福祉協議会等が開催する福祉まつり「ふれあい広場」に参加し、お菓子の詰合せを販売しました。この福祉まつりは、普段の暮らしのしあわせを感じる「福祉のまちづくり」を目指し、焼津市総合福祉会館とその周辺で毎年開催されているもので、ステージでの催し物のほか、体験コーナーや出店などもあり、多くの市民が集うイベントです(今年度参加団体92)。志太地区労福協では、行事参加を通じて多くの方に労福協を知っていただきたいとの想いから、例年まつりに参加しています。

今年度は、1回100円でクジを引いてもらい、1等が出れば1000円相当、2等は500円、3等は300円、4等は200円相当のお菓子をお渡しすることとし、ハズレなしのくじ引きでまつりを盛り上げました。また、子どもたちに大人気の妖怪ウォッチやワンピースのグッズもオマケで付けましたので、可愛らしいたくさんの笑顔を見ることができました。用意したお菓子は200個でしたが、1時間程度で完売！販売する私たちも大いに盛り上がり、楽しめました。なお、売上金は福祉のまちづくりに役立ててもらうよう、全額寄付しました。

今後もより多くの方に労福協の活動を知っていただき、支え合う仲間が増えていくよう、地域との関わりを大切にしながら取組みを進めていきたいと思います。

第26回 綱引き大会」を開催

10月18日(土)富士通㈱沼津工場体育館にて「第26回綱引き大会」を開催しました。当日は天候にも恵まれ、男子の部8チーム・混合の部12チームの参加の下、総勢300名を超える方々が集まり、日頃の運動不足解消と親睦を図りました。

今大会では男子の部で例年優勝候補の大本命である沼津市労連「ファイヤー沼津」が御嶽山噴火による影響から不参加となり、参加チームの実力が拮抗した中での競技開始となりました。午前中は男子の部・混合の部それぞれ2グループに分かれてリーグ戦が行われ、一本の綱に選手各々の力と気持ちが一つになり、息の合った引き合いで熱い戦いが繰り広げられました。昼食時には子供達による「ちびっこ綱引」を開催し、保護者らは仲間の試合以上に熱を込めて応援をしていました。午後にはリーグ戦を勝ち上がったチームによる白熱した決勝トーナメントが行われ、男子の部で「東芝機械やったろうず(東芝機械労組)」と混合の部で「Y・E・S(全矢崎労組沼津支部)」がそれぞれ優勝しました。

怪我等も心配しましたが、そのようなことも無く、休みのひと時を楽しく過ごすことができました

今回は本大会と併せて「フードドライブ」の取組を実施し、49.11kgと多くの食糧品が集まり、こちらも成功に終わりました。

パークゴルフ大会」を開催

10月19日(日)富士山樹空の森パークゴルフ場にて、北駿地区労福協「パークゴルフ大会」を開催しました。

パークゴルフとは、芝でおおわれたコースを専用のクラブとボールを用いて、カップインするまでの打数を競うスポーツで、お子様でも楽しく遊べます。

当日はお天気にも恵まれ、秋の景色と雪化粧した富士山をバックにプレーをしました。

この「パークゴルフ大会」は、昨年度初開催し今年度2回目となります。今年度は、55名・15チームと前回を上回る参加をいただきました。開催セレモニー後、みやび・みくりやの2コースに分かれてプレースタートとなりました。コースは全18ホール。参加いただいたお子様も飽きずに、大人の皆様もちょうど良い運動になったのではないでしょうか。本格的なコースとなっており、バンカーや池も設置されている為、普段ゴルフで腕を慣らしている方が悪戦苦闘する姿もみられました。昨年度は、会場にてスコアの集計をしていただいたのですが、今年度から対応が出来ないとの事もあり、表彰は行わず閉会式のみとなりました。後日集計を行い、参加者の皆様へ個人と団体の賞品を配布しました。

今回の大会に合わせて、フードバンクの呼び掛けも行いました。通常総会以来2度目となりますが、参加者の皆様から沢山の備蓄品(麺・パスタ・お米・缶詰など)を持ち寄っていただき、「フードバンクふじのくに」に寄贈する事が出来ました。皆様方のあたたかい気持ちに感謝です。

労福協役員の方には、フードバンク・大会の運営にご協力いただき、スムーズに終える事ができました。参加者の皆様にも、楽しい時間を過ごしていただけたと思います。

ZENROSAI NEWS
1814B022

お問い合せは下記まで

全労済東部支所
沼津市米山町 11-24
TEL055-923-1755

全労済中部支所
静岡市葵区鷹匠 2-10-16
TEL054-254-3312

全労済西部支所
浜松市中区中央 3-15-37
TEL053-453-5888

保障のことなら
全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

退職金や預け替え資金をお預けいただける方に

特別金利定期預金 きんろう

【お取扱期間】
2014年4月1日(火)～
2015年4月30日(木)

1口あたり100万円以上 のご資金について
期間中は、店頭表示金利に
〔6カ月定期〕年 **＋0.2%** 金利を上乗せいたします!!

お取扱い総枠 **200億円**
※募集枠に達した時点で取扱終了!!

※上乗せ金利の適用は初回満期日までです。
以降はその時点の店頭表示金利で自動継続されます。
※上乗せ金利幅は、お取扱期間中でも見直しさせていただく場合があります。
詳しくはお近くの〈ろうきん〉営業店へお問い合わせください。

Point 退職金のお受取後 1年以内 または 当金庫外からの預け替え 国債満期償還金 等 の資金が対象です

対象となる資金 ※当金庫の会員に所属する個人およびその家族が対象です。
- ●退職金(当金庫普通預金にある受取から1年以内の資金、退職に伴う財形預金解約金、一斉積立解約金も含む)
- ●他金融機関からの預け替え(当金庫の普通預金にある6カ月以内にご入金いただいた資金も含む)
- ●国債満期償還金
- ●相続預金(当金庫にある被相続人名義の預金、当金庫で相続の手続きを行って1年以内に作成された相続人名義の預金、他金融機関の資金)

対象となるご預金 ※ご本人様名義のみ
- ●「スーパー定期」又は「大口定期」 お預入期間6カ月

ご注意 ※ご利用の際はろうきん窓口へお申し出ください。
- ●既にお預入れの定期預金は特別金利定期預金に切替できません。
- ●表示は税引前の上乗せ金利です。利息には「復興特別所得税」含め、原則20.315%の税金が課されます。
- ●その他、「スーパー定期」「大口定期」に準じたお取扱いとなります。詳しい説明書は営業店窓口にご用意しております。

お問合せ
静岡ろうきん お客様サービスセンター
お電話受付時間:平日9時～18時
0120-609-123

いつもあなたの目線で。
静岡ろうきん

団体旅行
社内行事
視察研修
宿泊会議

- 旅行プラン企画
- 会場手配・設営
- チケット手配
- お弁当手配
- ギフトカード販売

私達は、事業を通じて勤労者と絆を深め、「安心」と「安全」をサポートします。

静岡ユニオントラベル

詳しくはこちら

〒422-8067静岡市駿河区南町11番22号 労働会館3F
TEL 054(203)6877(代)
静岡県知事登録旅行業第2-309号
FAX 054(203)6878
http://www.union-travel.co.jp

読者のページ

■野口武利さんの「贈る言葉」を興味深く拝見しました。なかなかするどいピンポイントの問題提起です。「足るを知る」ことが大事でしょうか。格差のない社会になってほしいです。

愛知県豊橋市　梶原様

■「フードバンクふじのくに」の取り組みを今回知りました。過剰ともいえるコンビニ店数、そこから更に産み出される無駄な廃棄物。これらがなぜ発生するか皆で考えなければ。

伊東市　土屋様

■「フードバンクふじのくに」の記事を読み日々もったいない事をしていると思いしらされました。でも食料を無料で預かって他の人に役に立たせる事ができるなら何か出来る事がないかと思いました。くわしく知りたいです。

富士市　千須和様

■ロッキー奨学金の制度、うれしく思います。貸与型は奨学金という名前の借金、知り合いの息子さんも奨学金を返済しながらの生活で大変そうです。(親に督促が･･･)　未来ある若者のための制度、ずっと続けてほしいです。

富士宮市　吉野様

■私も松永さんと同じく、カンボジアボランティアを経験した1人です。"日本に生まれて安心・安全な生活をしている"、と言う事実に本当に感謝出来た経験でした。ボランティアと言うと尊敬されたり感心されたりする対象ですが、決してそうではなく、自身を成長させてくれる貴重な活動の場であると私は思います。自身が成長するためにも、少しでも多くの国・人が幸せになるためにも、今後も活動を続けていければと改めて思いました。

浜松市　植村様

あなたも労福協だよりにご意見、ご質問をお寄せください。掲載させていただいた方には粗品をプレゼント!

事務局員紹介

(榛南地区労福協担当)

氏　名／四之宮妙子(しのみや たえこ)
血液型／A型
趣　味／サッカー観戦

榛南地区労福協事務局員になり、1年半が経過しました。中1と小5の息子の子育てに奮闘しながら事務局員をさせていただいております。昨年、事務所を現在の榛原郡吉田町に新設し、現在では労福協や退福共の会合でも事務所を利用していただいています。これからもさらに多くの方に立ち寄っていただけるような、地域に根ざした事務所となるように、事務局員として頑張っていきたいと思います。

あなたも 2,000円をゲットしよう!

ホームページからの応募も可能です

(1) 各地区労福協でイベントが開催されています。沼津地区労福協で開催された綱引き大会は今回で何回?
A. 16回　B. 26回　B. 36回

(2) 福祉基金協会が主催する2月25日に開催するロッキーカレッジは?
A. 風の電話の物語
B. 山の電話の物語
C. 海の電話の物語

(3) 浙江省総工会特別友好訪中団は今回で何回目の訪中?
A. 10回　B. 20回　C. 30回

答えをA・B・Cの中から選んでいただき、ハガキ・FAX・E-mailの何れかでご回答ください。正解者の中から、抽選で5名様に2,000円のUCギフトカードを差し上げます。また、ご意見・ご感想等をお寄せいただき、掲載させていただいた方には粗品をプレゼントします。

■締 切 日　2015年2月28日(土)まで　[消印有効]
■記載項目　①お名前　②電話番号　③郵便番号と住所　④クイズの答　⑤メッセージ

応募先
〒420-0851　静岡市葵区黒金町5-1
「県労福協だより編集係」
FAX 054-273-3110

E-mailは労福協ホームページの郵便ポストをご利用ください。　郵便ポストをクリック

クイズ　前回の答え
(1) A：湯ったりらくらく宿泊プラン
(2) B：村上開明堂労働組合
(3) C：8項目

当選者
○伊豆市　鈴木　里美　様
○伊東市　橋本　善浩　様
○浜松市　村重　幸治　様
○藤枝市　野田　忠行　様
○静岡市　辻田　智史　様

応募総数62通の内、正解者の中から抽選した結果上記の方々が当選されました。おめでとうございます。

アドレスが変わりました!

労福協のホームページ
*クイズの応募やご意見等の投稿ができます
http://plaza3.dws.ne.jp/~scn00855/
検索サイトはこちらから
静岡県労福協　検索

労福協のブログ
*営業日は毎日アップしています。
検索サイトはこちらから
こちら黒金町　検索

Workers Art
Exhibition 2015

作品募集中

【募集期間】平成27年
2月23日(月)▶3月13日(金)

出品料は無料です

全ての作品を展示します

出品者全員に参加賞を進呈

第65回 静岡県勤労者総合美術展

展示期間 平成27年4月8日(水)―4月12日(日) 展示会場 グランシップ展示ギャラリー

●主催／静岡県労働者福祉協議会・静岡県下各地区労働者福祉協議会・静岡県労働者福祉基金協会
●後援／連合静岡・静岡県・静岡市・静岡新聞社・静岡放送
●協賛／静岡県労働金庫・全労済静岡県本部・県生協連・年金福祉協会・勤労者信用基金協会・ユニオントラベル・退福協・ろうきんグリーン友の会・ライフサポートセンター友の会

【募集作品】絵画・書・写真・手工芸・コンピューターグラフィック
【応募資格】静岡県内の勤労者
【作品受付】労働金庫本支店・全労済県本部及び各共済ショップ・静岡県労働者福祉協議会

問合せ先 静岡県労働者福祉協議会(静岡市葵区黒金町5-1勤労者総合会館内)
TEL054-221-6241 Eメール:rofukukyo@mx1.s-cnet.ne.jp

労福協だより 2015新年号 発行日／平成27年1月1日 発行所／(一社)静岡県労働者福祉協議会
発行責任者／金指 敦之 TEL.054-221-6241 FAX.054-273-3110
●Eメール rofukukyo@mx1.s-cnet.ne.jp
●インターネットホームページ http://plaza3.dws.ne.jp/~scn00855/

検索サイトからもご覧いただけます
静岡県労福協 検索